

平成23年 新年の美杉地域の行事

担当：地域振興課
電話：272-8080

目次

新年の美杉地域の行事	1
美杉人権を考えるつどい	2
おさかなまつり in 美杉	2
もちつき大作戦	2
新春歩け歩け大会(多気)	3
眞福院精進まつり	3
ご寄付ありがとうございます	3
・名松線の全線復旧に向け	
・森林セラピー基地の発展に	
・地域の社会福祉増進に	
・水彩絵の具セットを贈呈	
津市過疎地域 自立促進計画が決定	4~ 6
太郎生地区地域づくり協議会の活動	7
集落機能再生きっかけづくりの ワークショップ	7
下之川ごんぼまつり 2/11	7
美杉にゆかりの書物	8
津市の人口・高齢化率	8
美杉地域の人口・高齢化率	8
総合支所から(所得税、市・県民 税の申告相談日程ほか)	8

初詣 寒さ一段と厳しい中で

昨年の大晦日(おおみそか)から、一段と寒さが厳しく、白いものもちらついて、雪の年明けとなりました。

皆さんも寒さを押して、美杉地域の神社を訪られたことと思います。年始の行事として、家族の健康や商売繁盛を願



北畠神社

われたことでしょうか。今年も良い年でありますように・・・



川上山若宮八幡宮



仲山神社(下之川)

各地区でどんど焼行事



1月7日、美杉地域の各集落では、正月のしめ飾りを燃やし、鏡餅を焼く、山の神が行われました。

全国的には、小正月行事として15日にどんど焼行事として行われているようで、美杉でも15日に燃やしているところもあるようです。

燃やすということから、神火をもって「正月の神様」を送るという意味があるようで、お盆の送り火と同じと言われています。また、この火で焼いたお餅を食べて無病息災を願うという意味もあります。

【八知・大野小場の山の神】

この地区では、1月5日に皆さんでしめ縄飾りをして、当日は祠にお参りして、どんど焼、山の神行事が行われました。



【編集の記】

みすぎん「新年早々の美杉総合支所への市長さんの訪問。嬉しかったです。寒い年初めでしたが、今年も美杉の情報をどしどし皆さんにお届けします。みすぎん同様、『美杉だより』をかわいがってください。」

時節柄、皆さん御身お大切に



美杉人権を考えるつどい 12/12

12月12日(日)、美杉総合開発センターにおいて、美杉人権を考えるつどい(主催:教委美杉事務所)が開催されました。第1部では、美杉小学校、美杉中学校の児童・生徒による人権作文の発表や美杉中学校生徒が人権活動のアピールを行いました。第2部では、江嶋修作さんによる「人権は世界の常識」と題した講演会が開催されました。



おさかなまつり in 美杉 盛大に 12/18

12月18日(土)、道の駅美杉で、海の幸・山の幸のコラボレーションとして「おさかなまつり in 美杉」が開催されました。まぐろの解体ショーをはじめ、貝汁の振る舞いや福引抽選会があり、伊勢湾で水揚げされた新鮮な魚貝類や白塚で加工した海産物などの販売と合わせて、美杉の物産販売の各ブースは終日、大勢の人で賑わいました。

また、マイ箸の作製や木工教室も行われ、家族や友人たちで箸作りを楽しむ姿も見られました。



【みずぎんも登場し、会場を盛り上げてくれました】



もちつき大作戦 12/23

12月23日(木・祝)、奥津の美杉高齢者生活福祉センターで「歳末餅つき大作戦2010」(主催:あったか正月を実現する会・美杉地区社協内)が行われました。

あったか正月を迎えてもらおうと、小・中学生をはじめ美杉の全地区からたくさんのボランティアの人たちが集まり、お餅つきをしました。

つくられたお餅は、80歳以上の人が見える世帯にボランティアの人たちによって届けられました。



新春歩け歩け大会 1/2 多気



1月2日(日)に、今年で26回目となる新春歩け歩け大会(主催:多気体育振興会、上多気区)が開催され、今回は、地域の皆さんに伊勢本街道の魅力を再認識していただけるようコースが設定されました。

当日、道の駅美杉で伊勢本街道を活かした地域づくり協議会の奥野友一さんから、本街道の歴史などについて説明を受けた後、68人の参加者が、伊勢奥津駅間往復約10kmを元気に歩きました。



真福院精進まつり 1/16

1月16日(日)に多気、杉平地区の皆さんに受け継がれている伝統行事「精進まつり」が雪の中行われました。



真福院では参加者に甘酒の振る舞いもありました。祭のクライマックスは弓祝いの座。蔵王堂でお祓いを受けた二人の

地域の人が、水飲み場近くの的場から8本の矢を的めがけて放ち、祭事は終了となりました。



「名松線の全線復旧を求める会」へご寄付がありました・・・

12月9日(木)
えちの
に愛千野会(白山高等学校同窓会)会長の中田健一郎さんから名松線の全線復旧への活動資金として寄付がありました。



森林セラピー基地発展にご寄付を頂戴しました

12月24日、社団法人三重県宅地建物取引業協会津支部から、津市森林セラピー基地運営協議会へ寄付目録の贈呈式が行われました。これは、津まつりで、同支部が総合支所と連携して「津市空き家情報バンク」のPRを行った際、JA三重中央から提供された地場産ぎょうざや美杉茶の詰め放題販売を行い、その売上金を寄付されたものです。



美杉町チャリティゴルフ実行委員会から美杉地区社会福祉協議会へご寄付

12月16日に、去る9月8日に開催された美杉町チャリティゴルフ大会で参加者の皆さんや協賛者からいただいた寄付金を大会代表篠原利昭さんから田中会長へ寄付されました。



水彩絵の具セットが届けられました

1月14日夕方、国津神社(太郎生)に水彩絵の具セット8人分が置かれているのを宮司の森下さんが見つけた。「明るい日本を築いてください。美杉を愛する伊達直人」と書かれた手紙が同封されていました。

その後、新聞掲載されたことから、伊達直人を名乗る人から神社に電話があり、美杉小学校新入生全員分(18人)を送っていただくことになりました。



奥津宿では、お正月には「しめ飾り」だけでなく、花餅も併せて飾るお家が多いようです。
普段の暖簾とよく合っていますね。

お正月飾り



美杉の振興方針「津市過疎地域自立促進計画」が決定

過疎地域にかかる特別措置法は、昭和45年4月24日に「過疎地域対策緊急措置法」が施行されて以来、4度の法改正を行いながら、延べ40年間にわたり過疎対策が進められてきましたが、平成22年4月1日に「過疎地域自立促進特別措置法」の失効期限の6年間の延長及び特別支援措置が拡充され、引き続き過疎地域の自立促進を図ることとなりました。

法の目的を変えず現行法の拡充延長とした背景には、これまでの過疎対策法に基づくハード整備事業は一定の成果があったものの、近年、過疎地域は限界集落や超高齢化地域と呼ばれ、いよいよ集落そのものの維持が困難な状況になりつつあることが挙げられます。

今回の制度拡充では、過疎高齢化地域の医療や生活交通の確保、将来にわたる安全・安心な暮らしの確保など集落の維持及び活性化を図るため、特別支援措置の拡充として、ハード整備とあわせて過疎地域の自立を促進するために重要なソフト対策事業が過疎対策事業債対象として、行えることとなりました。

この津市過疎地域自立促進計画は、平成18年1月1日に市町村合併により新津市としてスタートした際、過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎地域として認定されていた旧美杉村の区域について、市町村の廃置分合等があった場合の特例により、「過疎地域としてみなされる区域」として国による公示が行われており、過疎地域自立促進特別措置法第6条第1項の規定に基づき、本計画を美杉地域の自立促進のための振興と発展の指針とするため、「三重県過疎地域自立促進方針」及び「津市総合計画」などの関連する計画との整合を図り策定するものです。

1 基本的な事項

(1) 市の概況 [美杉地域の概況]

- ア 自然的条件
- イ 歴史的条件
- ウ 社会的条件

(2) 人口及び産業の推移と動向

(3) 行財政の状況

(4) 地域の自立促進の基本方針

- ア 豊かな自然環境と貴重な歴史・文化資源を最大限に活用
- イ 都市住民への居住の場の提供
- ウ 地域住民の快適な生活環境の整備
- エ 生活に直結する生活道路の整備
- オ 次代へつなぐ交通ネットワークの形成
- カ 森林・農用地の適正な管理
- キ 安全安心な特産品の開発
- ク 地場産品の流通整備、情報発信及び販路拡大
- ケ 農林水産業との連携による新たな産業の創出
- コ 起業家の育成
- サ 自治会を中心とする協議会を基盤とした地域の活性化
- シ 地域医療対策、公共交通対策、集落機能再生支援等の推進

(4) 計画期間

平成22年4月1日から平成28年3月31日まで



地域の皆さんの参加で津市過疎地域自立促進計画を進めましょう

2 産業の振興

- 農業の振興
 - ・ 担い手の育成・確保
 - ・ 優良農地の確保及び利用集積
 - ・ 有害鳥獣による農産物の被害防止
 - ・ 各作物の生産性の向上、農産物のブランド化の促進
- 林業の振興
 - ・ 間伐等による森林整備、林道整備の促進
 - ・ 担い手の育成・確保
 - ・ 林産物のブランド化の促進
 - ・ 木質系バイオマスの活用等による地域循環型産業の拠点形成
- 水産業の振興
 - ・ 資源管理、アマゴ等のブランド化の推進
 - ・ 魚道の整備、食害の防止対策
- 商業の振興
 - ・ 地域で生活必需品が購入可能な商業環境の整備
 - ・ 販路拡大の機会の創出、新商品の開発支援
- 工業の振興
 - ・ 地場産品の流通整備及び情報発信による販路拡大
 - ・ 新たな産業の創出や起業家の育成、自然条件に適應した企業誘致
- 観光とレクリエーションの振興
 - ・ 集客交流施設と連携した観光地づくりの推進
 - ・ 観光拠点地の整備充実
 - ・ 伊勢本街道、史跡「多気北畠氏城館跡」等を活用したまちづくりの推進



3 交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進

- 心の通う交通・情報ネットワーク
 - ・ 国道及び県道の整備の促進
 - ・ 老朽化した舗装及び側溝の改修、維持管理の適正化
 - ・ 狭い道路の整備、橋梁の修繕及び架け替え、農道・林道の整備
 - ・ JR名松線の早期復旧への取組
 - ・ 効率的で持続可能な交通ネットワークの構築
 - ・ 災害時における情報手段の確保、整備、充実
 - ・ ICTの活用とテレワーク事業の整備支援
 - ・ 豊かな自然、歴史等の地域資源を生かした交流の促進



4 生活環境の整備

- 安全な環境づくり
 - ・ 常備消防と消防団の連携及び消防施設等の整備
 - ・ 住民の防災意識の高揚をめざした防災体制の確立
 - ・ 河川の整備、治山・治水対策の推進、災害時の情報伝達手段の充実
- 新最終処分場等施設の建設に伴う周辺環境整備
 - ・ 処分場施設内の自然公園や遊歩道の整備
 - ・ 周辺施設、周辺道路の整備
- 水の確保
 - ・ 水道未普及地の解消による施設整備の推進
 - ・ 簡易水道施設の水质管理の強化及び耐震化
 - ・ 合併処理浄化槽の設置の推進



5 高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進

- 高齢者等の保健
 - ・ 健康相談、健康診査等の事業の推進
 - ・ 他機関と連携した子育て支援等の母子保健事業の推進
 - ・ 森林セラピー基地を活用した健康づくり
- 福祉の向上及び増進
 - ・ 地域住民、ボランティア等と行政が協働した地域福祉の向上
 - ・ 地域特性に応じた高齢者対策の推進
 - ・ 介護保険事業の充実及び啓発活動の推進
 - ・ 保育所整備及び通園バスの運行
 - ・ 保育所での育児相談、地域子育て事業の実施
 - ・ 障がい者等へのサービス提供の基盤整備、移動支援等の充実

6 医療の確保

- 医療の充実
 - ・ 診療所医師の確保等の診療体制の充実
 - ・ 一志病院と連携した地域医療の充実
 - ・ 医療機関への交通手段の整備
 - ・ AEDの配置による応急措置の充実



津市過疎地域自立促進計画は、美杉地域の振興方針です。

7 教育の振興

- 21世紀のひとづくり
 - ・ 小中学校の教育の充実
 - ・ 地域及び家庭と連携した安全で安心して通える学校づくりの推進
 - ・ スクールバスのメンテナンス及び更新
 - ・ 学校施設の整備、小中学校の親子給食実施に向けた改修、整備
- 知性豊かなひとづくり
 - ・ 青少年の健全育成、生涯学習体制の整備
 - ・ 社会教育関係団体等の育成
 - ・ スポーツの振興及びスポーツ施設の改修
 - ・ 廃校施設の有効活用



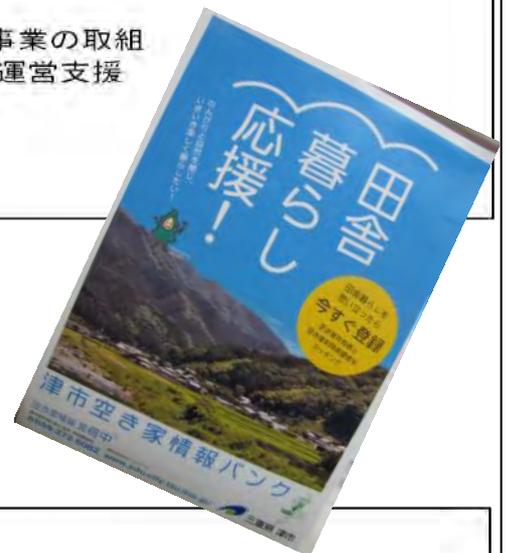
8 地域文化の振興等

- 文化の振興と伝承
 - ・ 文化協会の育成及び文化芸術活動の活性化
 - ・ 史跡「多気北畠氏城館跡」に残る歴史・文化資源の有効活用
 - ・ 史跡「多気北畠氏城館跡」の発掘調査の継続及び整備
 - ・ 文化財の保護・保存
 - ・ 文化施設機能の整備、充実
 - ・ 多気北畠遺跡に特化した資料館の新設
 - ・ 伝統文化や伝統行事の継承、支援及び後継者の育成



9 集落の整備

- 移住・交流の促進
 - ・ 空き家情報の提供、田舎暮らしアドバイザー制度によるPR事業の取組
 - ・ 空き家を利用した地域づくり方策実行拠点施設の整備及び運営支援
 - ・ 自治会を中心とした協議会等への地域づくりに向けた支援
 - ・ 若者等定住住宅等の整備の検討
 - ・ 移住者への支援の充実と居住環境の確保



10 その他地域の自立促進に関し必要な事項

- 総合複合施設の整備
 - ・ 文化センター、保健センター及び総合支所の機能を備えた施設の整備
 - ・ 旧施設跡地を利用した地域の協議会等の情報発信拠点の整備
- 人材の誘導
 - ・ 各地域の活性化協議会を中心とした活動拠点の設置
 - ・ 地域おこしリーダーの育成
 - ・ 若者の出会いの場の提供、若者が定住できる環境づくり
 - ・ 地域広報紙の発行等による市民と協働によるまちづくりの推進
 - ・ 「美し国おこし・三重」の取組の推進
- 自立のための多様な事業展開
 - ・ 基金の積立による財源の確保



太郎生地区地域づくり協議会 勢和の「まめや」視察調査 12/10

太郎生地域づくり協議会（会長 水井達雄さん）では、協議会メンバー12人で、多気町丹生にある「農村料理まめや」を視察調査しました。

メンバーの皆さんは、料理や特産品の販売・厨房の配置・体験工房での豆腐づくり等、実際の経営内容を熱心に調査研修され、平日ではありましたが、

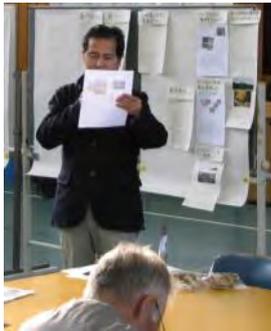
「まめや」の盛況ぶりに驚かれていました。

今回の調査研修は、太郎生地区での農家レストランの可能性に自信を持つとともに今後の旧三国屋旅館を活用した事業の参考となる充実したものとなりました。



集落機能再生きっかけづくりのワークショップ

地域づくりの方針を皆で出し合い …下之川・太郎生… 12/19



きっかけづくりの3回目のワークショップ（最終回）が12月19日（日）に開催されました。前回に出された地域課題を基に地域づくりの考え（アイデア）を皆で持ち寄りました。

東京農工大学客員教授の福井先生の指導で、アイデアを分類し、どれが大事かということで、それぞれのアイデアに点数を付けました。獲得点数の多かった上位5つのアイデアについて、その事業を「住民・住民と行政の協働・行政」の誰がするのかという役割の整理もしました。

このきっかけづくりワークショップは、今回で終了しましたが、出された意見などを基に、それぞれの地域で「地域づくり協議会」設立へと進み、一層住みやすい地域にしていく必要があります。

本年度は、伊勢地と八幡と八知で地域づくり協議会が設立されています。

3回のワークショップの経験を十分に生かして、住民の皆さんの力で美杉の地域振興が進むことが期待されています。



下之川ごんぼまつり 2/11

昨年のごんぼまつりの様子

伝統行事の下之川の仲山神社のごんぼまつりが2月11日（金・祝）、10時から開催されます。

下之川の皆さんが丹精込めてつくる「味噌ごんぼ」は、故郷の味、独特の味としてたいへんな人気です。

予約（2/3締切）もできますので、ぜひお求めください。

当日、午前11時からボランティア女性部の皆さんが、あたたかい玄米がゆをごんぼ会館で振る舞っていただきます。

【問い合わせ先：下之川地域特産品を育てる会 電話276-0406】



『句集 流れ星』 岡田泉城著

発行 ほかずき書籍 平成三年五月

泉城は「あとがき」にこう記している。『私と俳句の出会いは、昭和二十一年であるから、約半世紀が経とうとしてゐる。省みておどろくほどの年月である。しかし、はじめて俳句雑誌なるものを手にした時の感動は、今も忘れることは出来ないほど新しい。』

その「感動」を古びさせない新鮮な句で本書を締めている。春そこに來てゐて木々の光るなり

「あとがき」を先に紹介したので、前後するが、序は、伊藤柏翠氏。題は「霧寂びの一好漢」、その出だしは、『昭和五十九年九月八日、私は始めて三重県一志郡美杉村に岡田泉城氏を訪ねた。』

伊賀の上野から美杉村に入り永納周子氏の八知と云ふ在所の永平寺派の無住寺に参詣、観音經を讀誦した後、車を駆つて泉城氏の住む竹原に向つて一路下つた。

このあたりは往古、北畠頭能が国司であつたので、山にはその居城の跡が残り、街道近くには北畠神社の蒼古たる社殿があり、神鶏が放ち飼ひにされて居つた。雲出川と云ふ山川が村を貫き、國鉄名松線の鉄橋がかゝつてをった。私のその日の句帳に次の様な句が残つて居る。

【うちの一句】

霧深き故に霧山城と云ふ



二十年前の刊行といふ時を経ながら、序も本文同様に新鮮で清々しさを感じさせてくれている。

…この本は「美杉図書室」「津図書館」に置いてあります。「一読を…」

美杉にゆかりの書物

津市の人口（平成23年1月1日現在・住民基本台帳による）

地域	津	久居	河芸	芸濃	美里	安濃	香良洲	一志	白山	美杉	合計
人口	158,380	42,659	18,269	8,716	3,924	11,009	5,062	15,188	12,670	5,686	281,563
65歳以上	36,798	9,841	4,424	2,328	1,211	2,653	1,455	3,850	4,037	2,833	69,430
高齢化率	23.23%	23.07%	24.22%	26.71%	30.86%	24.10%	28.74%	25.35%	31.86%	49.82%	24.66%

美杉地域の人口（平成23年1月1日現在・住民基本台帳による）

地区	竹原	八知	太郎生	伊勢地	八幡	多気	下之川	合計
人口	737	1,278	1,072	571	658	806	564	5,686
65歳以上	348	628	407	298	373	448	331	2,833
高齢化率	47.22%	49.14%	37.97%	52.19%	56.69%	55.58%	58.69%	49.82%

【お詫びと訂正】

美杉だより第9号（1月1日発行）2ページ、新春インタビュー「藤田正也さん」の文中、『継承組織委員会』とあるのは『景勝委員会』の誤りです。お詫びして訂正します。

【電話番号】 美杉総合支所
地域振興課 272-8080-8082・8085
市民福祉課 272-8083-8084

所得税、市・県民税の申告相談日程（美杉）

美杉総合開発センター	2月18日(金)	9:00~12:00
八幡出張所	3月2日(水)	9:00~11:30
多気出張所	3月2日(水)	13:30~16:00
下之川出張所	3月3日(木)	9:00~11:30
竹原出張所	3月3日(木)	13:30~16:00
伊勢地出張所	3月4日(金)	9:00~11:30
太郎生出張所	3月4日(金)	13:30~16:00

詳しくは、広報津 1月16日号(2~4ページ)をご覧ください。

*主な電話番号を記載しましたが、その他の電話番号などは、電話帳でお調べいただくか、美杉総合支所へお問い合わせください。